

# World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



## Vol.55

### シベリア鉄道



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のアダム・ラビエルさんとジェニファー・ステイントンさんです。

**Hello! ジェニーです。今月はロシアのシベリア鉄道についてお話ししたいと思います。社会の教科書や世界地図に載っているほどに有名な鉄道です。私もぜひ一度乗ってみたいと思っています。少しでも気分はシベリアへGo!**

**ロシア**は本当に広大な国です。面積は日本のおよそ45倍で、世界一大きな国です。アジアとヨーロッパ二つの地域にまたがる数少ない国の一つであるロシアは、北方アジアのすべて、そしてヨーロッパの面積の40パーセントを占めています。ロシアの西側と東側の地域では11時間もの時差があります。つまり、日本海側のウラジオストクで昼食の時間だとすれば、モスクワはまだ真夜中なのです。



ロシアの大きさを考えると、旅行しようとしても、どこから始めればいいのか分からなくなるでしょう。この広くて少し謎めいた国を探検するためにもっとも人気のある方法は、世界一長い**シベリア鉄道**を利用することです。百年前に建設されたシベリア鉄道の電車「ロシア号」はモスクワのヤロスラブリ駅を出発し、ウラジオストクまで7日間をかけて走破します。

実はシベリア鉄道を利用すると、東京からほぼ**1万キロメートル**離れたイギリスのロンドンまで飛行機に乗らずに行くことができます。週に1度富山市からウラジオストクまでフェリーが就航しているので、ウラジオストクからロンドンまですべて電車で行くことができます。この2週間の旅の間、さまざまなえも言われぬ光景を見ることができるでしょう。



△シベリア鉄道の車掌



最初の目的地は、シベリアに百万以上ある湖の一つ**バイカル湖**です。世界で最も深いバイカル湖の水は、地球上の淡水の約20パーセントを占めます。さらにバイカル湖は透明度が高いため、冷たい水中を泳ぐ勇気がある人は、水深40メートルまで見通すことができます。



△バイカル湖を通る列車

再び電車に乗り西に向かって進むと、次の目的地**ノヴォシビルスク市**に到着します。その都市は1893年に建設中のシベリア鉄道がオビ川を橋で渡る地点に建設され、現在ではシベリアの中心的都市になりました。

ノヴォシビルスク市を出発し、ヨーロッパとアジアの境界であるウラル山脈に向かいます。この山脈には昔ながらの伝統的な村がたくさんあります。



△ヤロスラブリ駅 (モスクワ)

それからまた西に向かい、ヴォルガ川を巡るクルーザーに乗るためにニジニ・ノヴゴロド市に立ち寄り、やっと首都のモスクワにあるシベリア鉄道の終着駅**ヤロスラブリ駅**に到着します。モスクワの壮麗な宮殿

や博物館を訪ねた後で、ロンドン行き列車に乗り乗ります。ワルシャワやベルリン、そしてブリュッセルを巡り、最後には**ロンドン**の居心地の良いパブで食事とビールを楽しみながら旅の終わりを祝うことができます。



△モスクワの教会